

1947（昭和22）年に誕生した林業経済研究所は2017（平成29）年に創立70周年を迎えましたが、それを記念して、2017年9月30日に東京大学弥生講堂で記念シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは（公社）国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成をいただき、林業経済研究所の調査研究企画委員会が中心になって実施しました。

シンポジウムの内容は次のとおりでした。

一般財団法人林業経済研究所 創立70周年記念シンポジウム

「国土・社会・森林

～国土管理における人と森林の関係を問う～

主催：（一財）林業経済研究所・（公社）国土緑化推進機構

開会の辞 青木正篤氏（国土緑化推進機構常務理事）

趣旨説明 立花敏氏（筑波大学）

座長 関岡東生氏（東京農業大学）

第1報告 加藤衛拓氏（筑波大学）：近代治山治水事業の展開と林業革命

第2報告 古井戸宏通氏（東京大学）：林政における保安林制度の意義～国土管理への含意～

第3報告 早尻正宏氏（北海学園大学）：地域主体の国土管理と「地方創生」

コメント 佐藤仁氏（東京大学）

パネルディスカッション 加藤氏、古井戸氏、早尻氏、佐藤氏

閉会の辞 永田信（林業経済研究所理事長）

また70周年記念事業の一環で、ルネサンスシリーズ・シンポジウム（2011年度－2016年度）の全記録をまとめた書籍

林業経済研究所 編 『森林（もり）のルネサンス～先駆者から未来への発信』

を2018年3月に出版しました。ご購入希望のかたには1冊2,000円（税・送料込み）でお届けいたします。

この書籍に掲載されているシンポジウムシリーズもすべて（公社）国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成を得て行われました。シンポジウムの主催は「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム実行委員会で、林業経済研究所はシンポジウムの実施を支援しました。